

「農業用排水路の安全管理に関する調査(行政相談契機)」を開始します。

関東管区行政評価局は、地域の住民生活に密着した行政上の課題等を取り上げ、行政運営の改善を図るため、「地域計画調査」として、独自に調査を企画し、実施しています。

令和2年8月から、標記の調査を開始します。

この調査では、近年、住宅地と近接している農業用排水路への転落死傷事故が発生していることや、当局の行政相談窓口や行政相談委員にも、「自宅近くの用水路に蓋をしてほしい」などの要望が寄せられていることから、農業用排水路への転落防止策の実態などを把握し、効果的な対策事例の情報提供や、行政機関による支援方策などを検討します。

【本件照会先】総務省 関東管区行政評価局
第4評価監視官 只野 裕子
電話:048(600)2332
メール:knt13@soumu.go.jp

本報道資料は、関東管区行政評価局のホームページに掲載しています。

<https://www.soumu.go.jp/kanku/kanto.html>

農業用排水路の安全管理に関する調査

調査の背景等

○農林水産省によると、農業用排水路は、全国で約40万km以上の延長があるとされ、農業に不可欠な基盤施設

○関東地方は、全国の農業産出額の約4分の1を占めるなど、農業が盛んな一方で、都市化により、農業用排水路が地域住民の生活空間に近接する「混住化」が進展

(注) 農業産出額は、農林水産省「平成30年農業産出額及び生産農業所得」による。

○このような中で、地域住民等が農業用排水路に転落する事故が毎年発生し、死傷者も絶えない状況

(注) 農林水産省「農業用排水路における安全管理の手引」によると、平成26年度からの5年間における水路での人身事故による死者数は、413人(都道府県別の状況は不明)

○農業用排水路への転落事故の防止対策としては、①ハード対策(水路の蓋や、水路脇のフェンスなどの安全施設の整備)と、②ソフト対策(地域住民等への注意喚起や啓発活動などの実施)の両面が考えられる。

○国は、安全施設の整備等のために種々の国庫補助事業等を行っているが、全ての水路にハード対策を施すことは、多額の費用がかかり、実際には困難

○最近では、低予算での簡易なハード対策や、地域住民とともに安全啓発活動を行うソフト対策などの工夫もみられる。

○農業用排水路への転落事故等の発生状況等
(事故の発生状況や、把握状況等を調査)

○土地改良区等による転落防止対策の実施状況
(土地改良区等におけるハード面・ソフト面での転落防止対策の事例を収集)

などの実態を把握

効果的な取組事例を収集し関係団体等に提供するとともに、行政機関による今後の支援の在り方の検討に資する。

主要調査項目

- 1 農業用排水路における転落事故等の発生状況
- 2 転落防止対策の実施状況

調査対象機関

関東農政局、県、市町村、土地改良区、関係団体 等

調査実施期間

令和2年8月～2年11月

参考資料

1 全国の農業用排水路の延長

農業用排水路	約40万km以上
うち基幹的水路	51,154km

- (注) 1 農林水産省の資料による。
 2 基幹的水路とは、末端支配面積が100ha以上の水路をいう。
 3 基幹的水路の延長は、「農業基盤情報基礎調査」(平成30年度末現在)の推計値である。

2 関東農政局管内の農業産出額

平成30年の産出額は2兆2,476億円で、全国の総産出額の4分の1近くを占めている。

都県	産出額(億円)	(全国順位)
茨城	4,508	3位
栃木	2,871	9位
群馬	2,454	14位
埼玉	1,758	20位
千葉	4,259	4位
東京	240	47位
神奈川	697	38位
山梨	953	34位
長野	2,616	11位
静岡	2,120	16位
(管内合計)	22,476 (24.6%)	
全国	91,283 (100.0%)	

(注) 農林水産省「平成30年 農業産出額及び生産農業所得」に基づき、当局が作成した。

3 農業用排水路における人身事故の発生状況(全国)

年度	水路における事故発生件数(件)		死亡者数(人)
	農作業中(件)	農作業中以外(件)	
H26	81	11	70
H27	91	9	82
H28	132	10	122
H29	104	5	99
H30	88	4	84

- (注) 1 農林水産省「農業用排水路における安全管理の手引」(令和2年3月)から引用した。
 2 農作業中と明確に判断出来ない事故は、農作業中以外として集計している。

4 当局管内の行政相談窓口寄せられた主な相談事案

- 用水路に落ちそうな危険な場所があるので、蓋やフェンスを設置してほしい。
- 市道のカーブのところに農業用水路があり、これまでに転落事故が3回起きているので、蓋をしてほしい。
- 用水路の柵が低い上、傾いているので、子供の転落が懸念される。安全ロープ等による緊急処置をしてほしい。

など